

都道府県別賞一等

自分に合った保険を

愛媛県 新居浜市立中萩中学校 三学年

河端 七柚

テレビで、よく生命保険のコマーシャルをみます。病気になったときや、入院したときなど、さまざまな場面が放送されています。今までは、家族もみんな元気だし、入院したりすることもなかった。最近、身近にも感じずあまり関心を持っていませんでした。しかし最近、祖父や祖母が病気で通院するようになり、入院を何度か繰り返したり、手術を受けたりするようになりました。すると、父と祖母が保険の話をするところを見かけるようになりました。それから保険という言葉を身近に感じるようになり、どんなものなのか少し気になったのでいろいろ調べてみることにしました。

まずは、自分の家族がどんな保険に入っているのか、親に聞いてみることにしました。すると、父と母が生命保険と医療保険に入っていることを知りました。さらに、加入している目的は、病気になるかときや介護が必要になったとき、そして死亡したときやお葬式のお金が必要になったときなどのためということも教えてくれました。目的はたくさんあるけれど、一番重要なのは父が死亡したときのためだと思います。私の家は、母が働いていないため、収入の一〇〇パーセントが父の収入です。なので、もし事故などで急に父が死亡してしまうと、家の収入が0になってしまい、明日からの生活費がなくなり私達が生活できなくなってしまうからです。こんなときのために、保険は絶対に必要だと思いました。

私は、生命保険は死亡したときにお金が貰えるという印象しかありませんでした。しかし、両親は他にもたくさん目的があると聞いていたので、保険はどのような仕組みになっているのか調べてみました。すると、保険には生命保険の他にも、医療保険や学資準備のための保険など、たくさん種類があることが分かりました。

まず、医療保険は入院や手術時に支払われる保険のことだそうです。これを見て、祖父や祖母が話していた保険と似ていると思ったので、あの時は、医療保険について話していたことが分かりました。保険についての本を見てみると、入院や手術に必要な大体の金額が書かれていました。すると、思っていたより大きい金額で驚きました。

第55回中学生作文コンクール

これは保険に入っていないと、とても大変なことになるので医療保険も重要だと思いました。医療保険は他にも、例えば一家の大黒柱が長期入院しなければならなくなり、月々の生活に不安を感じた場合に、そこで不足する収入をカバーしたりもしてくれるそうです。

もう一つ気になったのが学資準備のための保険です。学資準備のための保険とは、子どもの教育資金の確保を目的とした保険だそうです。内容は他の生命保険と同じで、毎月決まった額の保険料を払い続ければ、主に祝い金や満期学資金として契約時に決めた子どもの年齢に合わせて保険金が受け取れます。今までは、保険は大人だけのもので子どもはあまり関係ないと思っていました。しかし、子どもにも保険があつて、さらに他の保険と似ていて驚きました。高校や、特に大学などで多くのお金が必要なので、とても助かる保険だと思いました。

今回、保険について調べて、たくさん種類の保険があることを知りました。それに、生命保険会社だけでもいくつもあり、選ぶのがとても大変だなと思いました。将来、私が大人になったとき、いくつかの保険に入ることになると思います。そのときに、とても多くの種類の保険があつて、きっと悩んでしまいます。しかし、私はそれぞれが自分に合った保険に入ることが最も大切なことだと思います。だから自分のことをよく考えて、自分に一番合った保険を選べるようになりたいです。